



桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和6（2024）年3月6日 第11号

文責：校長 佐藤 正貴

今年度の学校教育目標は・・・？

毎年、年度始めに、学校を運営するにあたり、児童の実態や社会情勢等を加味しながら学校教育目標を掲げていきます。今年度の目標は「磨き・高め・創造し合える児童の育成」としています。学校便りの第2号（学校 HP・学校からのおたよりに掲載済）で学校教育目標に込めた思いや育成すべき児童の姿については書き記しています。また、目標の具現化に向けては、家庭との連携が必要である事も書いています。では、なぜ、この年度末にこの話題を持ち出したのかということ。勿論、年度末ですので学校教育目標の達成状況について検証していく意味もありますが、もう一つ考え直さなければならないことがあると感じているからです。それは、児童、保護者、地域、そして本校の教職員が、どれ位の教育目標を意識しているのかということです。

本校の職員に私が「今年度の学校教育目標は何？」と尋ねたとき、果たして全職員がきちんとと言えるのかということ考えた時、正直自信は・・・？。児童や保護者、地域の方に同じ質問をしたとき、多分職員以上に言える人は少ないと思います。これは、継続して伝え続けることをしなかった校長の責任です。学校教育目標は、校長が学校を運営する上での目標ではありません。中央小に通っている児童に付けて欲しい力、人としてどのような資質を磨き、能力を高めていくのか、そして人との関わりを通して学び続けながら、どんな生き方をしていくことが大切なのかということを示しているものです。言い換えれば、児童一人一人が夢を実現させるために、小学校6年間で、身につけたり考え続けたりすることをこの大切さを実感してほしいことでもあります。

具体的に取り組んだ事に関しては、後日お知らせする学校評価アンケートの集計結果をご参照ください。良かった点は更に発展させながら取り組んでいきます。課題が見られた点につきましては、取組の状況を検証して次年度に向けて改善していきます。

ちなみに・・・学力に関してですが、12月に実施させた県学力調査の結果を見ると、県や市の平均には僅かに及びませんでした。前年度と比較すると確実に伸びている結果が出ていました。児童個々が自分を磨き、共に高め合ってきた成果として見ています。また、6年1組が菊池教育会から里仁賞をいただきました。これは学校 HP でも紹介していますが、地域や学校を含め社会的に貢献した活動に対して贈られる賞です。子どもたちが6年生に進級したときに、最上級生として自分たちに出来ることは何かということ学級で考え、桜門の清掃活動に毎朝取り組み続けてくれています。みんなで作ることを創造し、実践を継続してきた成果です。

目に見える形で成果も出ていますが、まだまだ全体としての取組には至っていないのが事実です。次年度は、児童、保護者、地域、そして学校が一体となった取組の充実させ、児童が通うことが楽しいと思える学校、保護者が通わせて良かったと思う学校づくりに取り組んでいきます。

6年生の送別会・送別遠足

3月7日（木）に6年生の送別会・送別遠足を実施しました。送別会は、どの学年も趣向を凝らした表現で、6年生に思いを伝える事ができました。中でも2年生の応援団風の出し物は、感謝の気持ちと同時に、運動会を引っ張ってくれた6年生への憧れの気持ちも伝わってきました。送る会の後は、農業公園に行きました。多少距離はありましたが、弁当を食べて、広い場所で思いっきり笑顔で遊ぶ姿を見ることができました。実施できてよかったです。



